

JFFID 2026 日本代表候補強化合宿 [1月開催]

報告者：日本代表監督 西 真一

1 日時・場所

期 間：2026年1月16日（金）～18日（日）

場 所：ビーラインフットボールセンター姶良（鹿児島県姶良市）



©JFFID

2 強化合宿の目的

・スタッフ及び選手：2026Virtus サッカー世界選手権に向けた選手選考とチーム強化

3 スケジュール

| 期日 | 午前 | 午後 | 夜 |
|----------|-----------|---------------------------|--------|
| 1月16日（金） | | 集合 フィジカルチェック トレーニング | ミーティング |
| 1月17日（土） | トレーニングマッチ | トレーニング | ミーティング |
| 1月18日（日） | トレーニングマッチ | 解散 | |

4 スタッフ・選手

スタッフ：7名

選 手：代表候補 21名

5 トレーニング・ミーティング及びゲーム

- ・フィジカルチェック (40m走・クランク走・YO-YO)
- ・スキルトレーニング (パス・コントロール・ターン)
- ・守備トレーニング (前線・中盤からの守備戦術、スライド (縦・横))
- ・攻撃トレーニング (4vs4+3F、ビルドアップ)
- ・GP トレーニング (基本技術・ゲーム適応能力・チーム戦術)
- ・ポジション別 (中央突破シュート、サイドの崩しからシュート)
- ・ミーティング (フランス遠征振り返り、TRM振り返り、フィジカルチェック成績、SNSリテラシー)

・トレーニングマッチ

1/17 (土) vs 鹿児島ユナイテッド FC U-18 ●1-10

前半 JFFID 日本代表 0-6 鹿児島ユナイテッド FC U-18 (45分)

後半 JFFID 日本代表 1-4 鹿児島ユナイテッド FC U-18 (45分)

(J) 得点者：梅村

※別で、30分ゲーム実施

1/18 (日) vs CSKA 鹿児島 ●2-5

前半 JFFID 日本代表 1-2 CSKA 鹿児島 (45分)

後半 JFFID 日本代表 1-3 CSKA 鹿児島 (45分)

(J) 得点者：横井 2

※別で、30分ゲーム実施

6 総括

2026年、ワールドカップイヤーの年を迎えるました。日頃より、代表活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。ワールドカップの開催場所・期日等の詳細は今後 VIRTUS から明らかになるかと思いますので、私たちはいつ開幕してもいいように良い準備に努めることが重要です。

さて、今回の合宿は2泊3日のショートキャンプでゲーム中心に行いました。選手のコンディションは年末年始のトレーニング不足の影響もあり、あまり良い状態ではありませんでした。ポジティブに考えると、合宿で体を起こし、地域での日常のトレーニングに戻していく、という捉え方もできるかもしれません。

とはいっても、強度の高い対戦相手と試合ができたことは良かったと思います。また、どんなゲームであっても得点をすることができるようになっているのはポジティブですが、セット終盤の失点が多いことはメンバーの確定も含めて早急な対応が必要です。

課題は、FP のテクニック、個人戦術と GK のプレーリーダーシップです。FP の具体的課題は守備時、オフ選手の「相手ボール保持者の状況を踏まえてのボールとマークの同一視」及び「運動した縦スライド、横スライド」です。攻撃時は、「判断を伴ったパス／シュート・コントロール・ドリブル・ターンなどのテクニックの質」及び「ボール保持者の状況を踏まえたポジショニング／サポート（優先順位を意識）の質」です。

GK は、代表チームのサッカーの中心でもあるので、11人目の FP としてのスキルと高い意識、そしてボールを恐れない（※恐れないための良いポジショニングを取り続けること）ためのスキルとリーダーシップの発揮を期待します。

このような課題は、これまでと変わらないことですので克服できるように、地域の指導者の皆様のご理解のもと、日常でのトレーニングで引き続き取り組んでいただけますと幸いです。よろしくお願いします。

ミーティングでは、オンザピッチ、オフザピッチにおける代表候補選手としての自覚と行動（食事・立ち居振る舞い・言動など）の大切さについてガイダンスで話しました。ワールドカップの長期に渡る代表活動において、最高のパフォーマンスを発揮するために重要なテーマです。

今後、さらに国内合宿を重ね、これまで積み上げてきたものを継承し更なるチーム力の強化に努めます。

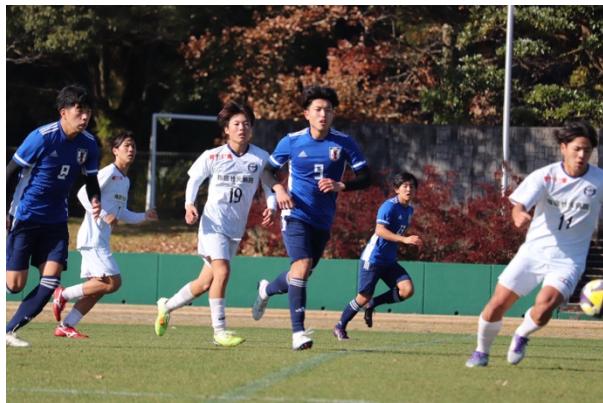
最後になりますが、本合宿に選手を派遣くださいまして誠にありがとうございました。また、開催地の姶良市においては、特産品の提供や食事のサポートをしていただきました。いつもお伝えをしていますが、代表チームは、地域の皆さんとの活動へのご理解と、地域における日常のトレーニングの積み重ねの延長上にあります。つまり、日常のトレーニングにより、選手は上手く強くなっています。日本全体の日常のレベルを更に上げ、より良い日常になることにより代表チームの更なる強化に繋がります。

「日常を大切に..」。

8年越しのワールドカップに向けて代表チームを日本全体で押し上げてください。

今後ともよろしくお願いします。





@JFFID



@JFFID



@JFFID